

四 米國官憲ニ於テ我漁獵船拿捕一件 九〇

Erskine & Fletcher of Kodiak, Alaska for \$810.00.
The sealing boats, guns etc. were sold to various
persons for \$631.65.
Sale took place at Unalaska, May 26, 1913.

Very respectfully,

Signed: H. P. S.,

U. S. MARSHAL.

(附屬書二)

(別紙乙号)

七月二十六日附「アラスカ」裁判所執行官ヨ

リ「キーファー」弁護士宛書翰

九四

Copy.

Valdez, Alaska, July 26th, 1913.

James Kiefer, Esq.,

Attorney,

Seattle, Wash.

Dear Sir:—

We did not receive a sufficient amount from the
sale of the vessel to pay the costs against the vessel.

Very respectfully,

Signed: H. P. S.,

U. S. MARSHAL.

事項五 極東ノ露領沿海ニ於ケル漁業ニ関スル件

九一

二月十九日

在ニコラエウスク緒方領事館事務
代理ヨリ
桂兼任外務大臣宛

「ニコラエウスク」方面ニ於ケル邦人買魚不
可能ノ状況並同地島田ノ打開策ニ関スル件

附屬書

二月十八日附島田元太郎氏陳情書

島田ノ露国式製魚開始ノ計画ニ対スル露人業者
ノ妨害ニ付願出ノ件

附記

大正元年十二月二十七日附緒方事務代理ヨリ桂
兼任外務大臣宛公信第二三〇号「ニコラエウス
キー」漁業組合創立ト同組合規約訳報ノ件

公信第一九号

(二月十日接受)

大正二年二月十九日

在ニコラエウスク

領事館事務代理 緒 方 整 肅(印)

外務大臣公爵 桂太郎殿(註)

曩ニ漁業者「ルマルチューク」外数名カ当地ニ「ニコラエ
ウスキー」漁業組合ナルモノヲ組織シタルコトニ関
シテハ客年十二月二十七日付公信第二三〇号ヲ以テ詳細及

五 極東ノ露領沿海ニ於ケル漁業ニ関スル件 九一

九五

報告置候処其後黒竜江内「チヒリ」漁区ノ経営者「ラウロ
フ」ナル者同組合ニ加入シタル外新ニ加入者無之候得共同
組合ノ事業ハ世人最初ノ予想ヨリ一層好況ヲ呈シ今ヤ各地
ヨリノ製魚注文高ハ組合員全部ノ予想製造高ヲ合スルモ尚
ホ不足ヲ告ケントスルニ至リタレバ組合員ハ各々他ノ小漁
業者ニ資金ノ融通ヲ計リ其製魚ヲ買取セントスルニ努メ居
リ候釀テ我露領水産組合「ニコラエウスク」支部員ハ本年
当方面ニ於ケル買魚準備ノ為メ此頃函館ニ会議ヲ開キ其購
買製造高ヲ約十万石ト見積リ既ニ本年度ノ組合支出入予算
ヲモ編成シ之ヲ当地島田元太郎ニ送付シ同時ニ露国漁業者
ト買魚価格ノ取極方ヲ依頼シ来リ候処前述ノ如ク露国式製
魚ノ需要日々増加シツ、アル際トテ売買予約相場ノ如キ目
下「プラスト」漬一布度ニ付鱒九十哥夏鮭一留十哥秋鮭一
留六十哥ト云フ高値ヲ示シ之ヲ製造費ヲ除キタル生魚一尾
ノ価格ニ換算セバ鱒三哥夏鮭七哥秋鮭二十哥ニ相当シ昨年
我買魚者ノ購買価格(鱒十分ノ七哥夏鮭二哥半秋鮭八哥)
ニ比スレバ実ニ四倍乃至二倍半ニ達セリサレバ我買魚者ハ

従来ノ内地市場ノ相場ニ鑑ミ到底右ノ如キ高価ヲ提供スルコト能ハザレバ結局露国漁業者トノ交渉モ大部分不調ニ終リ候我買魚者カスノ如キ結果ニ逢着スルハ早晚免カレザルコト明カナリシト雖斯ク急激ノ変化ニ遭ハントハ彼等ノ中何人モ予想セサリシナルベク是レ時運ノ然ラシムル処ニシテ亦已ムヲ得ザル次第ニ候然レトモ其責任ハ幾分我買魚者ニ於テ之ヲ負ハザルベカラズ何トナレバ兩三年前露国漁業者ニ対シ急激ニ買魚価格ノ引下ヲ迫リ以テ彼等ヲシテ露国式製魚ノ発達ヲ促サシメタレバナリ尤モ薩哈噠島「タムラオ」方面漁場ハ従来我買魚者ト特殊ノ關係ヲ有スル漁業者「ミルレル」ノ租借ニ係ルモノ多キヲ以テ本年他ヨリ經營者現ハレザル限り其漁獲高ハ大部分我買魚者ノ手ニ委セララルナラント思考セラレ候当地漁業界ノ現況前述ノ次第ニ付従来買魚者トノ間ニ在リテ仲介業ヲ營ミ来リタル島田元太郎ハ此情勢ヲ袖手傍觀シ去ルトキハ自己ノ主要職業ヲ失フト同時ニ多年幾多漁業者ニ融通シ来リタル貸金ノ回収モ困難ニシテ其蒙ル打撃ノ甚大ナルヨリ進ンデ自ラ露国式製魚ノ製造、販売ニ従事シ以テ露国当業者ニ對抗セシコトヲ企図シ此頃官市有漁区ニ於ケル生魚又ハ製魚ノ買付ニ着手

書ヲ提出候ニ付御参考ノ為メ当地漁業界ノ現況報告旁右寫差進候 敬具

追テ別紙陳情書ニハ既ニ組合名義ヲ以テ沿黒竜江国有財産管理庁ニ請願書ヲ提出シタル如ク記載シ候得共未ダ其運ビニ至ラズ候尚ホ本文寫ハ在露都田付代理大使ニ送付致置候間此儀併セテ申添候也

註1 當時ノ外務大臣ハ加藤高明ナリシナリ

2 公信第三三〇号ハ本文書ノ附記トシテ採録シタリ

(附屬書)

島田元太郎氏陳情書

島田ノ露国式製魚開始ノ計画ニ対スル露人業

者ノ妨害ニ付願出ノ件

写

拝啓

頃者私儀日本式製魚ノ終焉ヲ機トシ日露漁業家ノ仲介者タル従来ノ立場ヲ出デテ露国式製魚ニ就事シ弘ク欧露ノ市場ニ露国当業者ト對抗ノ旗幟ヲ翻セル次第ハ客月二十日当地方漁業ノ現勢ヲ報告ノ序ヲ以テ縷述致置候ガ斯業ニハ何等ノ經驗ヲ有セズ製品ノ品質如何ニ就テハ自ラ願ミテ疑惧ナ

シタル処意外ニモ従来同人カ露国人間ニ有セル信用ニ依リ「ニコラエウスキー」漁業組合員其他漁業者トノ關係ヲ擲チ同人ニ取引ノ申込ヲナス者続々相現ハレ既ニ其契約ヲ了シタル者モ尠ナカラザル由ニ候然ルニ前記組合員等ハ島田ノ活動ニ対シ大ニ狼狽シ今ニシテ同人ノ事業ニ妨害ヲ加フルニアラザレバ遂ニハ組合員ノ利益ハ著シク侵害セラル、ナキヲ保シ難シト頃來屢々合議シタル結果同人カ露国漁業者ニ比シ營業上特ニ有利ノ地位ニ在ルハ就中黒竜江海灣短期製魚区ニ於テ勞銀ノ低廉ナル日本勞働者ヲ使用シ得ル点ニアルヲ以テ同製魚区ノ貸下期限ヲ悉ク長期トナシ之カ使用ヲ禁スルカ將又同人ヲシテ採算ノ余地ナカラシムル為メ地区ノ最低價格ヲ著シク引上ケシムルモ亦一手段ナリトテ其筋ニ之カ採用方ヲ請願スルコトニ決シタルヤニ聞及居候処今般島田ヨリ右ニ関シ露国當該官憲ニ於テ前記組合ノ請願ヲ容レ本年発布ノ当「ニコラエウスキー」漁区表ニ之ヲ規定スルカ如キコトアラバ尠ナカラザル損害ヲ蒙ルベキニ付万一右ノ件ニシテ實現スルニ於テハ日露漁業協約附屬宣言書第二項ニ基キ長期漁区ノ附近ニ短期製魚区ノヲ下貸許可アル様露国官憲ニ交渉アリタキ旨別紙ノ通り陳情

キ能ハザル程ナルニ多年商業上ノ取引ニ於テ確實ヲ認知セラレタルノ余沢ヲ以テカ大ニ欧露買付者ノ注意ヲ喚起シ他ノ露国製魚者トノ關係ヲモ擲チテ「モスクワ」「ウヤトス」其他ヨリ小店ニ買付ヲ申込ム向統々頭ハレ之レガ全部ノ注文ニ応ゼントスルニハ二三漁区ノ收穫ノミニテハ不足ヲ告グルヲ以テ頃來市有漁区ノ營業者ト協商ヲ遂ゲ其製品ノ買付ケヲ為セルニ従来特殊ノ關係ト信用トヲ保持セル点ヲ以テ他ニ比シ条件頗ル有利ナルヲ得從ツテ之レガ販売上ノ上ニ於テ優ニ露国當業者ヲ凌駕スルコトヲ得此程大口ノ売渡契約ヲ了シ候コト巷間ニ伝ハルヤ恰モ小店ニ独占セララル、カノ如ク思惟シテ露国當業者ノ驚愕狼狽スルコト一方ナラズ就中例ノ販売同盟組合ハ主ナル當業者ヲ網羅シ之ニ加盟セザルハ小漁業者ノミニシテ言フニ足ラズ製品売買ノ権ハ一ニ挙ゲテ同盟ノ手中ニアルノ觀ヲ呈シ相場モ従來類例ナキ高値ニ釣上ゲ着々成果ヲ示シツ、アリシ際忽如小店這回ノ行動ハ実ニ同盟設立ノ基礎ヲ根底ヨリ破壊スルモノナレバ今ニシテ小店ヲ圧抑スルニ非ザレバ実利ハ挙ゲテ小店ノ壟斷スル所トナリ亦恢復ニ由ナケントナシ組合員等屢次臨時總會ヲ開催シテ對抗策ヲ擬議シタルモ固是レ取引上

ノ關係ハ信用ノ厚薄ニヨリ岐ル、モノニシテ敢テ亦他ノ強制ヲ容サズ彼等如何ニ躍起トナルモ小店ニ圧抑ヲ加フルノ途ナキニ窮セルノ余リ小店ガ製品売捌上自国同業者ニ比シ有利ノ地位ニ立ツハ海灣製魚区ニ於テ賃銀低廉ナル日本労働者ヲ使役シ得ルノ便益アルヲ以テニシテ是レガ為メ幾多露国当業者ハ小店トノ競争ニ於テ多大ノ損失ヲ忍ハザルヲ得ザレバトテ自国民産業保護ノ為メ黒竜江海灣短期製魚区ニノミ現存セル特典ヲ排除シ全然外国労働者ノ使役ヲ禁止スルカ若シクハ之等製魚区ノ競売立価ヲ一万五千留乃至二万留ニ高メラレ度旨同盟組合ノ名ヲ以テ在哈府黒竜江国財庁ニ請願書ヲ提出ヲ見ルニ至リ候ニ就テハ国財庁ハ総督ノ排外政策ヲ迎合シ或ハ以テ同盟ノ請願ヲ容レ本年度ノ黒竜江漁区表発布ニ際シ海灣ノ製魚区ヲ悉ク長期トナシテ日本労働者ノ使役ヲ禁止致スヤモ難計候若シ左様ノ場合トモ成ラバ既ニ海灣ニ於ケル「オゼルパフ」「ブイル」二大漁区ノ全収獲ヲ買付ケ猶他ノ短期製魚区附属ノ漁区ハ總テ契約ノ計画ニテ製魚及売捌ノ上ニ着々準備ヲ進メツ、アル小店ノ蒙ルベキ損失ハ決シテ尠少ニ止マラズ關係取引者ニ対シテモ甚大ノ迷惑ヲ蒙ラシムルニ至リ誠ニ心外ノ次第ニ候ヲ

在ニコラエウスク

領事館事務代理 緒方整肅(印)

外務大臣公爵 桂太郎殿

此頃当地「ペ、ヤ、ルマルチューク」外数名ノ漁業者間ニ「ニコラエウスキー」^{「ルキゴアロムシンスイ、サユム」}漁業組合ナルモノ組織セラレ

候処組合創立ノ目的及規約ノ内容等詳細判明セサルニ付之ガ探査ニ努メ居候折柄幸ヒ人ヲ介シテ一組合員ヨリ前記組合規約書ノ謄本ヲ借覽スルノ機会ヲ得尙ホ設立理由ニ関シ他ヨリ二三聞及ビタル点有之候ニ付左ニ開陳致候

前記組合ノ設立セラル、ヤ組合ハ直ニ電信ヲ以テ沿黒竜江總督ニ対シ創立ノ目的並ニ将来組合ノ事業ニ十分ノ保護ヲ与ヘラレタキ旨ヲ述ベタル処總督ヨリ之ニ対シ斯ノ如キ有益ナル組合ノ創立ハ地方産業発展ノ為メ大ニ賀スベキコトナレバ出来得ル丈ケノ保護ヲ与フベケレバ組合ハ其所期ノ目的ヲ達スルニ努ムベシトノ回電アリ其後各地ノ新聞ニ於テ恰モ大々の組合ノ設立セラレタルガ如ク伝ヘラレタリト雖トモ同組合力風評ノ如ク有力ノモノニアラサルコトハ当地三十有余名ノ漁業者中現在加入者僅ニ八名ニ過キササルニ徴スルモ明ナリ是ハ姑ク擱キ今組合ノ規約ニ依リ其標榜セ

ヘバ是非ナク日露漁業協約ニ関スル宣言書第二項ニ拠リ漁区附属ノ製魚地区貸下ゲヲ請願シテ我労働者使用ノ途ヲ開キ度所存ニ有之候処由来自国民ニノミ篤フシテ邦人ノ願意ハ極力排斥ニ努メツ、アル露国ノ官憲ニ対スル一小店ノ請願亦却下ノ運命ニ遭着スルナキヲ保セズ万一然ル場合ニ立到リ候節ハ何卒露国当該官憲ノ反省ヲ促シ許可有之様御配意ヲ仰度予メ御願申上グル事如斯御座候 敬具

大正二年二月十八日

露領ニコラエウスク市

島田 元太郎

在ニコラエウスク帝国領事館事務代理

外務書記生 緒方整肅殿

(附記)

十二月二十七日附在ニコラエウスク緒方領事

館事務代理ヨリ桂兼任外務大臣宛公信

「ニコラエウスキー」漁業組合創立ト同組合

規約訳報ノ件

公信第二三〇号

大正元年十二月二十七日

ル大体ノ目的ヲ見ルニ第一外国ノ資本及市場ノ羈絆ノ下ニ在ル漁業ヲ独立セシムルコト第二魚類ノ販路ヲ開拓スルコト第三仲買人ノ手ヲ経ズシテ販路地ノ需用者及魚商ト可成直取引ヲナシ又漁場及魚類製造ニ要スル材料ノ購買及注文ヲ共同ニスルコト等ニ在リ然ルニ同組合成立ノ事情ニ通曉セル者ノ説ニ依レバ右ノ内第一ノ目的即チ外国ノ資本及市場云々ハ固ヨリ日本ノ資本及市場ヲ指スモノニシテ組合規約中ニ恰モ之ヲ最大目的ノ如ク掲ケタル理由ハ我買魚者ニ賤価ヲ以テ生魚ヲ売渡スヲ好マサル当該官憲ノ歛心ヲ買ハシムルカ為メ特ニ設ケラレタル表面上ノ空文ニ過ギズ何トナレバ明年以降ハ黒竜江内製魚区ニ於テ外国労働者ノ使用ヲ禁セラル、コト、ナリ居ルヲ以テ特ニ組合ノ規約ヲ以テ之ヲ定メズトモ事實上日本式製造ヲナスコト不可能ナレバ自然我市場トノ關係ヲ断チ得ルノミナラズ又前記労働者使用禁止ナキ黒竜江海灣方面ニ於テモ可成高価ノ露国式製魚ヲ製造セントスル現時ノ趨勢ナレバ同方面ニ漁場ヲ経営スル組合員ノ為メニモ斯ノ如キ条件ヲ設クルノ必要ナケレバナリ次ニ第二ノ目的タル販路ヲ開拓スルコトハ同組合ノ性質上当然定ムベキ事項ナレバ別ニ説明ヲ要セス而シテ第三ノ所

謂仲買人ノ手ヲ經ズシテ販路地ノ需用者及魚商ト可成直取引ヲナシ云々ハ是レ組合ノ最モ重キヲ置ケル点ニシテ組合設立ノ動機亦主トシテ此点ニ在リ故ニ其他ノ目的ハ何レモ枝葉ニ過キズ其理由ハ從來漁業中西伯利若ハ歐露ヨリ当地ニ來集スル仲買人ノ中ニハ製魚区ヲ競落シ其附近ノ漁場ヨリ生魚ヲ買取り之ヲ自ラ製造スル者又ハ漁業者ニ資金及材料ヲ供給シ或ハ漁季前予メ手附金ヲ渡シテ製魚ヲ買取ル者等アリテ当地製魚ノ大部分ハ殆ント彼等ノ手ヲ經テ歐亜市場ニ供給セラレタルヲ以テ利益ハ多ク彼等ノ為メ壟斷セラレタリ然ルニ近年当地產製魚ノ販路大ニ開拓セラレ將來益々之カ擴張ノ望アルト同時ニ汽車汽船ノ聯絡運送取扱開始セラレ又其運賃率著シク低減セラレ一方ニ於テ國立銀行其他ノ信用機關カ漁業者ニ對シ資金融通ノ途ヲ開キタル等種々ノ便法講ゼラレタレバ最早ヤ仲買人ノ手ヲ經スシテ歐亞ノ需用地ト直取引ヲナスコト困難ナラズ又彼等ヨリ資金ノ融通ヲ仰ク必要ナキニ至リ其結果彼等トノ旧來ノ關係ヲ斷チ其競争ヲ防止センカ為メニハ当地同業者間ニ於テ協同一致ヲ以テ製魚ヲ一切彼等ニ売渡サバルコトヲ決スル必要ヲ生シタルニ由ルト尚ホ茲ニ注意スベキハ同組合ノ共同販売

候次第ニ付右御含置相成度為念此儀申添候也

(別紙)

「ニコラエウスキー」漁業組合規約

千九百十二年十一月十五日「ニコラエウス」市ニ於テ吾等下名ノ者即チ「ニコラエウスキー」商「パーウエル、ヤーコウレウイチ、ルマルチューク」、「リュリー」兄弟商会、「ワルワラ、プロホーロウナ、グリゴレンコ」、「カプツァン」兄弟商会、「ルウイム、サムイロウイチ、ウォローシン」、「イワン、ダウイードウイチ、カパーナゼ」、「ボリス、シメローウイチ、ウエイネルマン」及「クルリヤンドスキー」兄弟商会即チ「イヨシフ、レイジエローウイチ」、「イサイ、レイジエローウイチ」及「モイセイ、レイジエローウイチ」ハ極東西伯利ニ於ケル漁業界一般ノ利益ヲ以テ聯合シ相互間ニ左ノ趣旨ニ基キ第一「ニコラエウスキー」漁業組合ヲ組織セリ

第一条 本組合ノ目的ハ左ノ如シ

組合員ニ属スル漁場ノ生産力ヲ増進スルコト、現今外国ノ資本及市場ノ羈絆ノ下ニ在ル我企業ヲ独立セシムルコト、魚類ノ販路ヲ西伯利ノ外帝国ノ他ノ地方ニモ開拓ス

ノ目的物タル製魚ヲ單ニ「カローダ」漬及「ブラスト」漬ニ限り他ノ製品即チ魚卵「シヨムガ」漬及燻製等ヲ除外シタルコト、ス其故ハ前者ハ其製法簡易ニシテ何人ノ製造ニ係ハルモノモ費用略ホ一定シ品質亦著シキ相違ナキニ反シ後者ハ往々其製法ヲ異ニシ費用ニ多大ノ徑庭アリ從テ品質モ亦自ラ異ナル所アリテ組合ニ於テ之カ評價ヲナスハ困難ニシテ苦情ヲ生スル原因トモナルベキヲ慮リタルニ由ルト云フ

前述ノ如ク新設「ニコラエウスキー」漁業組合カ我買魚者ニ對抗シ成立シタルモノニアラザルコトハ略ホ推測シ得ラルベシト雖モ其結果我買魚者ニ与フル影響如何ト云フニ黑竜江内ノ製魚区ニ於テハ前述ノ如ク明年以降買魚不可能ナルコト明白ナレバ是ハ姑ク擱キ海湾方面ニ於テハ「プイル」漁場ノ経営者「リュリー」兄弟商会ヲ除クノ外未ダ一人ノ参加者アラザルニ付目下ノ状況ヨリ察スレバ近ク大ナル影響可無之ト被察候得共今後同方面ノ露國漁業者ニシテ組合ニ参加スルカ如キコトアラバ多少ノ打撃ハ免レサルベシト存候別紙同組合規約訳文相添此段申進候 敬具

追テ組合規約書ハ本文ニ申進候通り他人ヲ介シテ借覽致

ルコト、集合運送ノ方法ヲ設ケ又仲買人ノ手ヲ經スシテ販路地ノ需用者及魚商ト可成直取引ヲナシ一方ニ現在市価ヲ騰貴セシメズシテ漁場ノ收入ヲ増加セシムル為メ組合員ノ漁場及魚類製造ニ要スル材料ノ購買及注文ヲ共同ニスルコト、

組合ハ上記ノ目的ヲ達スル為メ下ニ定メタル組合員所得ノ製魚ヲ集合シ之ヲ組合ノ共有品トシテ処分シ殊ニ組合員共同ノ計算ヲ以テ其確實ナル運送及販売ヲ為スヲ期ス
第二条 本組合ハ組合員相互ノ關係ニ於テ聯合スト雖モ外部ニ對シテハ組合トシテ行動セズ又第三者トノ關係ニ於テハ専ラ組合員各自ノ名義ヲ以テ左記ノ順序ニ依リ其業務ヲ行フモノトス

第三条 組合員ハ出資トシテ現ニ租借シ又將來租借スルコトアルベキ「ニコラエウスキー」漁業区（黑竜江下流及同海湾）ニ於ケル漁場及製魚場ヨリ毎年ノ漁獲物ヲ以テ塩蔵スル一切ノ普通「カローダ」漬及「ブラスト」漬鱒並ニ同夏鮭及秋鮭ヲ提供スルコトヲ要ス但シ來ル千九百十三年ノ漁季ニ於ケル漁獲物ノ内組合員ハ自己ノ計算ヲ以テ左記數量ヲ獨斷ニ処分スル權利ヲ保留ス

五 極東ノ露領沿海ニ於ケル漁業ニ関スル件 九一

「ペ、ヤ、ルマルチューク」	秋夏 鮭 鮭	一万二千布度
「リュリー」兄弟商会	秋夏 鮭 鮭	二万五千布度
「エル、エス、ウオロージン」	秋夏 鮭 鮭	八千布度
「ウエ、ペ、グリゴレンコ」	秋夏 鮭 鮭	二万五千布度
「イデ、カパナーゼ」	秋夏 鮭 鮭	三千布度
「カプツアン」兄弟商会	秋夏 鮭 鮭	三千布度
「クルリヤンドスキー」兄弟商会	秋夏 鮭 鮭	一万五千布度
「ペ、シャ、ウエイネルマン」	秋夏 鮭 鮭	二万五千布度
但シ「ペ、シャ、ウエイネルマン」ハ「ヤ、シャ、ウエイネルマン」ト共同經營セル「リヤングル」漁場ノ半漁獲高並ニ将来租借スルコトアルベキ漁場ノ總漁獲高ヲ提供スル条件ヲ以テ組合ニ加入セリ		
第四条 出資トシテ提供スル製魚ハ各組合員各自ノ計算ヲ以テ「ニコラエウス」市ニ運搬シ組合カ實際之ヲ受取リタルトキハ左ノ評價ニ拠リ組合ノ完全ナル所有ニ歸ス		
「カロード」漬	夏鮭 同	九十哥
「カロード」漬	同 同	七十五哥
「カロード」漬	秋鮭 同	一留五十哥

ト、毎年ノ製魚売約金額ノ限度及売約ヨリ生ズル違約金額ヲ定ムルコト、製魚ノ売価ト其引上及引下割合ヲ定ムルコト、組合會計ノ処理、組合ノ共同計算ヲ以テ各種財産ヲ購入スルコト、同財産ノ売却及質入、組合ノ取引ニ拠リ共同ノ收入トナルベキ手附金及其他ノ払込金ヲ分配スルコト、組合長及理事ノ選挙及其給料ヲ定ムルコト、事業ノ予算ヲ編成スルコト、年度報告ノ承認及組合員相互間ノ損益配分等ハ組合總會ニ於テ第七条ニ掲ゲタル発言権ノ計算方法ニ依リ総口数ノ四分ノ三以上ヲ以テ之ヲ決ス、總會ニ於テ可決シタル決議ハ特別ノ帳簿ニ記載シ出席シタル組合員悉ク之ニ署名スルモノトス

第九条 組合長及理事ノ員数ハ總會ニ於テ之ヲ定メ其ノ任期ハ一事業年度ニシテ總會決議ノ範圍ニ於テ協同一致ヲ以テ其職務ヲ行フモノトス

第十条 組合長及理事ハ連帶責任ヲ以テ總會ノ決議ノ執行及組合事業ノ直接管理即チ組合員ヨリ製魚ノ受領、帳簿及事務ノ処理、組合事務所ノ監督、年度報告ノ編成、第三者ト製魚ノ保管、運送、発送、保険、及販売並ニ一切ノ共同財産ノ購買及売却等各種契約ノ締結ニ関スル職務

一〇二

「プラスト」漬 同 同 一留二十五哥

但シ価格ハ風袋ヲ加ヘタル秤量ニ依リ之ヲ示ス

第五条 組合ノ存立時期ハ之ヲ定メス其事業ノ状態如何ニ拠リ之ヲ決ス但シ組合存続ノ最短時期ハ千九百十四年一月一日迄トス

第六条 組合ノ事業年度ハ十一月一日ニ始マリ翌年十一月一日ニ終ル

第七条 組合業務処理ノ為メ組合員ハ左記口数ノ發言權ヲ有ス

「ペ、ヤ、ルマルチューク」十口、「リュリー」兄弟商会十口、「エル、エス、ウオロージン」二口、「ウエ、ペ、グリゴレンコ」六口、「イデ、カパナーゼ」三口、「カプツアン」兄弟商会四口、「ペ、シャ、ウエイネルマン」四口、「クルリヤンドスキー」兄弟商会五口

第八条 一切ノ共通問題即チ本規約ノ變更及追加、組合事業ノ方針ヲ定ムルコト組合ノ目的ニ適當ナル施設ヲナスコト、新加入者ノ勧誘及規約ノ編成ト其採用、各組合員脱退ノ場合ニ其持分払戻額ヲ定ムルコト、第三者ニ信用貸ヲ為スコト、組合共通ノ必要ニ応シ信用貸ヲ為スコ

ヲ行フ但シ組合長及理事ハ共同若ハ単独ニ前記ノ權限内ニ於テ行動シ又自己ノ名義及他組合員ノ代表者トシテ其名義ヲ以テ第三者トノ契約ニ署名スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ何人ノ名義ヲ以テ契約ヲ締結スルヤノ決議ハ特ニ備付ケアル帳簿ニ組合長及理事ニ於テ適當ノ記入ヲ為シ之レカ証ト為スコトヲ要ス

第十一条 組合ノ收入金ハ總組合員ノ当座預金トシテ地方信用機關ニ預入レ組合事務所ニ於テハ単ニ事業ニ要スル当座費用ヲ保管シ置クモノトス

第十二条 魚類売上金及組合ニ於テ収メタル手附金ハ組合員ニ於テ本規約第三条ニ掲ゲタル製魚六種ノ内其出資ノ価格ニ応ジ夫々分配シ又同割合ヲ以テ組合員ハ共同事業ニ依ル一切ノ経費及損失ヲ分担スルモノトス本項ニ拠リ分配スベキ金額ハ收入ノ割合ニ依リ組合員ニ払渡スベシ但シ払渡金ノ内ヨリ不時ノ費用トシテ五分ヲ控除シ年度報告承諾後残高ニ応シ之ヲ払戻スモノトス

第十三条 各組合員ハ組合事務所ノ進行及状況ヲ知ランガ為メ帳簿及書類ヲ閲覧スル權利ヲ有ス但シ之カ為メ事務所ノ常務ヲ妨ケ又ハ渋滞セシムルコトヲ得ズ

第十四条 共同営業ノ範圍内ニ於テ相互ニ利害ヲ同フスル組合員ハ経費ヲ共ニスルヲ以テ相互ノ承諾ヲ得シテ自己ノ利益ノ為メ組合ノ根本目的タル集合販売ニ背反スル何等契約ヲ締結スルコトヲ得ス組合員中組合ヲ離レ本規約第三条ニ定メタル製魚ヲ自己ノ計算ヲ以テ販売シタルコト發覺シタルトキハ違反者ハ組合員ニ對シ其販売シタル製魚一布度ニ付違約金七十五哥ヲ仕払フモノトス該違約金ハ共有金ノ内ヨリ違反者ニ仕払フベキ最初ノ払渡金ヨリ控除ス

第十五条 組合員ハ其ノ見込ニ拠リ払渡金及事業清算ノ際受クベキ共有財産ノ分配權ヲ他人ニ讓渡スルコトヲ得但シ他ノ組合員ノ承諾ヲ得シテ其持分ヲ讓渡スコトヲ得ス組合長及理事以外ノ組合員ニシテ事情ノ為メ組合ニ参与スルコト能ハザル場合ハ制規ノ委任狀ヲ有スル自己ノ代表者ヲ参与セシムルコトヲ得

第十六条 千九百十四年一月一日込ハ組合員ハ何人ト雖モ組合ノ解散ノミナラズ持分払戻ノ請求ヲ為スコトヲ得ズ該期限後組合員中前記ノ請求ヲ為シタル者アルトキハ解散若ハ請求者ノ持分払戻ハ他ノ組合員之ヲ決ス、前記ノ

ハ組合員ノ同意ヲ以テ外部ヨリ選任シタル清算人ヲシテ之ヲ行ハシム

第二十条 本規約ハ総組合員署名ノ時ヨリ効力ヲ有ス

第二十一条 組合員間ニ生ズルコトアルベキ總テノ爭議ノ裁判所管轄ハ組合事務所所在地タル「ニコラエウスク」市ニ於テ之ヲ決ス

第二十二条 現在ニ於テ本規約ノ目的ノ價格ヲ定ムルコト不可能ナルニ由リ印紙税二十五留ヲ納付スルモノトス

第二十三条 規約書ノ原本ハ公証人ノ公証ヲ受ケ組合事務所ニ保管シ組合員ハ証明シタル謄本ヲ所持スルモノトス

「リュリー」兄弟商会代表者

「メイエル、モイセーウイチ、リュリー」署名

「ベル、シメローウイチ、ウエイネルマン」署名

「ルウィム、サムイロウイチ、ウォーロシン」署名

「カプツアン」兄弟商会代表者

「リヨフ、ベンチエレーウイチ、カプツアン」署名

「クルリヤンドスキー」兄弟商会代表者

「イサイ、レイジュローウイチ、クルリヤンドスキー」署名

請求ハ脱退希望者ガ当該事業年度中其提供スベキ出資全部ヲ組合ニ引渡シタル後ニアラサレバ為スコトヲ得ズ脱退者ハ次漁季ノ漁獲物ヲ何等組合ノ制限ヲ受クルコトナク処置スルコトヲ得、但シ脱退ニ関シ他ノ組合員ニ予告スルコトヲ要ス

第十七条 各組合員ノ持分払戻ハ当該事業年度經過後同年度ノ残高ニ応ジ之ヲ行フ但シ脱退者ハ共有財産ノ分割ヲ請求スルコトヲ得ズト雖モ残高ニ依リ決定シタル財産中ノ其持分ノ価額ヲ組合ヨリ受領スルコトヲ得若シ組合會計ノ事情ニ依リ一時ニ支払フコト能ハザル場合ニ於テハ脱退者ハ組合ノ処置ニ對シ異議ヲ述ブルコトヲ得ズ又脱退前ニ開始シタル取引ニシテ脱退ノ時マデ結了セザルモノニ就テハ全部ノ払戻ヲ受クルマテ事業ノ情況及各年度報告ニ関シ説明ヲ求ムルコトヲ得

第十八条 組合員死亡ノ場合ニ於テ組合ハ解散スルコトナク死亡者ノ持分ハ其死亡ノ場合ニ組合ノ業務執行上一名ノ代表者ノ名義ヲ以テ加入スル其總法定相続人ニ移転ス第十九条 或ル理由ニ依リ本規約ノ効力消滅スルトキハ組合員自ラ組合事業ノ清算ヲ行フ組合員間ニ異議アルトキ

「パーウエル、ヤーコウレウイチ、ルマルチニーク」署名

「ワルワラ、プロホーロウナ、グリゴレンコ」代理者
「イワン、ペトロウイチ、グリゴレンコ」署名
「イワン、ダヴィードウイチ、カパナーゼ」署名

九二 三月二十六日

在ニコラエウスク緒方領事館事務代理ヨリ
牧野外務大臣宛

島田ノ露国式製魚販売計画ニ對スル露人業者ノ妨害運動立消及両者間ニ妥協成立ノ件

公信第二七号

(四月十五日接受)

大正二年三月二十六日

在ニコラエウスク

領事館事務代理 緒方 整 肅(印)
外務大臣男爵 牧野伸顯殿

客月十九日付公信第一九号ヲ以テ当地漁業界ノ狀況報告ト同時ニ島田元太郎カ露国式製魚ノ製造又ハ売買ヲ企ツルニ至リタル顛末並ニ同人ノ事業ニ對シ露国漁業者側ヨリ妨害運動開始シタル件ニ関シ詳細申進置候処其後島田ハ前記ノ

妨害運動ニ何等顧慮スル所ナク各漁業者ヨリ製魚ノ予約買付ヲ継続シ又ハ新聞ニ広告シテ弘ク注文ヲ引受クル等々事業ノ發展ニ努メツ、アリシカ鱸テ「ニコラエウスキー」漁業組合員等ハ島田ノ為メ益々其利益ヲ蚕食セラル、ノミナラス同人ハ從來ノ關係上多数漁業者ニ対シ債権者ノ地位ニ在ルヲ以テ彼等ノ製品ハ大部分同人ノ手ニ帰スルコト明ニシテ前信ニ申述ベタル如キ手段ヲ以テ妨害ヲ与フルトスルモ結局予期ノ目的ヲ達スルコト困難ナレバ寧ロ此際幾分譲歩スルモ妥協ヲ遂クルノ得策ナルヲ看取シ頻リニ代表者ヲシテ同人ニ交渉セシムル所アリタリ又島田モ当地ニ於テ多年彼等ト取引シ来リタル關係上固ヨリ競争ヲ欲セザルハ当初ヨリノ希望ナリシヲ以テ遂ニ左ノ條件ヲ以テ前記組合ト契約ヲ締結スルコト、ナレリ

一、島田ハ本年製造又ハ購買セル夏秋鮭鱒製魚合計四万布度ヲ組合ニ關係ナク自由ニ処分シ得ルコト

二、島田ハ左記価格以上ニテ本年夏秋鮭鱒製魚最小限十

万布度ヲ組合ニ委託販売セシムルコト

一夏鮭 一布度ニ付

一留十哥

一秋鮭 同

一留六十哥

三、前項ノ価格以上ニテ売行アリタルトキハ島田ハ手数料トシテ組合ニ其實費ヲ仕払フコト（組合員ハ売価ノ如何ニ係ラス一布度ニ付五哥ヲ負担スル内規アリ）

四、組合ハ島田ニ対シ十口ノ發言権ヲ与フルコト

前述ノ如キ次第ニテ我当業者ニ対スル露国漁業者ノ妨害運動ハ自然立消ト相成候ニ付右様御承知相成度此段申進候敬具

追テ本文写ハ在露都大使館並ニ在浦潮總領事館ニ送付致置候間此儀申添候也

註 右ノ写ハ公信第一九号（前出）写ト共ニ四月二十四日附ヲ以テ外務省通商局長ヨリ農商務省水産局長宛参考ノ為メ送付セラレタリ

事項六 「カナダ」ニ於テ本邦移民渡航制限及排斥ノ件

九三

一月二十日

在バンクーバー矢田領事ヨリ
桂兼任外務大臣宛

「サスカチワン」州ノ東洋人ニ依ル白婦人使

用禁止法ノ修正ニ依リ問題圓滿解決ノ件

附屬書 一月十五日附「サ」州司法次官ヨリ矢田領事宛

書翰写

右禁止法ノ修正法送付ノ件

機密第四号

（二月十三日接受）

大正二年一月二十日

在晚香坡

領事 矢田 長之助（印）

外務大臣公爵 桂太郎殿

本件ニ関シ最近客年十二月二十七日付往電第二〇号ヲ以テ「サ」州司法次官ヨリ本官ニ接到シタル電報要旨及御電報置候処今般本件修正法ハ本月十二日ヲ以テ閉会ヲ告ケタル同州議會ヲ通過シ本月十一日州知事ノ認可ヲ受ケタル旨同修正法案相添同次官ヨリ別紙写第一号ノ通り公然通知致来候ニ付別紙写第二号ノ通回答ヲ發シ置候右修正法ハ別添

六 「カナダ」ニ於テ本邦移民渡航制限及排斥ノ件 九三

法案ニ依リ御承知可相成候通客年制定ノ旧法律条文中ヨリ

“Japanese” 及 “or other Oriental person” ナル語ヲ削

除スルコトヲ規定シ居ルニ付該法ハ今ヤ名実共単ニ清國人

ノミヲ羈束スル法律タルニ至リ尚修正法第二条ハ前記ノ語

辞力始メヨリ曾テ旧法ニ存在シタルコトナキ様旧法ハ解釈

セラルヘキコトヲ規定シ居ルニ付其帰化人タルト否トヲ問

ハス苟モ日本人トシテハ白婦人使用ニ関シ全然始メヨリ自

由ヲ確保セラレタルモノト相成本件ハ最モ満足ナル解決ヲ

告ケタルモノニ有之候

本件ハ前報告ニモ曾テ申述ヘタルコト有之候通当該「サ」

州ヨリハ却テ當B、C、州等ニ在テ甚大ナル影響アルモノ

ニシテ且各州共本件ノ成行如何ニ注視シ居リタル処ナルニ

斯ノ如ク好結果ヲ奏シタルハ他州ニ於ケル影響上一層仕合

ニ有之候依テ本日不取敢往電第二号ヲ以テ概略及御電報置

タル次第ニ候別紙写相添此段及報告候。敬具

追テ本報告写ハ「オタワ」総領事及在英大使ヘモ及送附

置候